



## 佛事の常識・非常識



Q:喪中なのですが年末年始をどう過ごしましょう？A:仏教徒として過ごしましょう。

先月から今月にかけて、次々と喪中欠礼のハガキを頂戴しています。私のところにも喪中にまつわるいろいろな悩みが寄せられていますので、昨年も取り上げましたが、もう一度「喪」ということを一緒に考えてみましょう。まず、辞書で「喪」を調べてみると「死を穢れとする考えに基づき、その穢れに触れた親族などが、一定期間忌み慎む状態。本来は魂の蘇生を待つ意味。」(講談社・日本語大辞典)とあります。大事なポイントが二つあります。一つは「死を穢れとする考え」ともう一つは「本来は魂の蘇生を待つ」ということです。これは神道の考え方です。神道では、死を「気枯れ」と定義しました。人の死を元氣や精気が枯れてしまう事と考えたのです。そこで一定の充電期間を経て「魂の蘇生を待つ」ことを「喪に服す」と言いました。死を仏教では穢れどころか、厳粛な事実として押し頂きます。四十九日(中陰)の物語も死者の魂の行方というより、残された私たちの喪失感に寄り添って死を受容するために説かれていると思います。最後は、自分の依り所が、仏教なのか世間一般の神道なのかの選を迫られることになります。どうぞ仏教徒として生涯を全うして下さいませ。

## 寺ともさん・ごほれ話 ついに2010年も最後の寺ともかわら版となりました。先月ペットちゃんのコーナー

に愛犬の菜々ちゃんを掲載させて頂いた藤田さんからは「(菜々ちゃんの記事を)何度も何度も読み返しました」という御礼の電話がありました。家族同様のペットちゃんは、可愛くて仕方ないですね。今月で48号丸4年。毎月・毎月ペットちゃんを取り上げさせて頂いて、実のところ未掲載のペットちゃんを発掘するのが徐々に難しくなっています。大勢の寺ともさんの中には、動物を飼っている方も多いと思います。ぜひあなたのペットちゃんを、かわら版で掲載させて頂いて下さい。こんなに可愛いとか、こんなに面白いというペットちゃんを募集しています。そのためだけに取材に参りますので、徳成寺までご一報くださいませ。私も動物に触れあうことで、とっても癒されますし、優しい気持ちを引き出されています。5年目のかわら版も、どうぞよろしくお願ひします。

### ご自慢のペットちゃん

名前：チャーちゃん  
性別：♀  
お年：12歳  
種類：チワワ  
好物：人参・スナック菓子  
苦手：立ち上がった男性  
住所：中原さん宅(高松市)  
性格：おとなしく賢い



ペットちゃんを募集しています

エピソード：チャーちゃんは、ある日机の上に置いていたチョコレートを銀紙をむしって全部食べちゃいました。ところが少々気持ち悪くなったようで戻しちゃったそうです。それ以来、家族のみんなが無造作にチョコを置くことはありません。にんじんやキャベツなど甘みのある野菜も好きです。でも数年前に会った人を覚えていて吠えることもなく、おトイレの失敗もありません。亡くなったご主人の洗濯物をスリスリしているのには家族中が泣けました。

## NHK高松放送局ゆう6かがわニュースとれとれマイビデオ



10/8夕方6時43分放送

去る10/8に、9月の寺ともサービスデー「犬とのふれあいを楽しもう」がNHK高松放送局の「とれとれマイビデオ」のコーナーに取り上げられました。あの頃は、うだるような暑さでしたのに、もう年末です。懐かしさを感じます。



### おまけ



サイバーボウズのライブで募金に頂いたとろろ。9,265円もの募金がありました。翌日の12月6日にNHK歳末おけしに募金にきました。今年も一年間、ありがとうございました。



@かわら版不要の方は恐れ入りますが087-821-6348へご連絡を。